



信州 & ウプサラ架け橋プロジェクト

団体名 : 2022年度ウプサラ大学派遣留学生



UPPSALA
UNIVERSITET



【背景】

①他学部と比較し、教育学部において留学生がいな。また国際交流の機会もほとんどない。

②「留学」に対して壁を感じる学生が多い。信州大学におけるウプサラ大学の知名度が低い。

東北大国際交流団体がインスタグラムで留学生生活を発信するライブを視聴で自分の留学生生活を想像することができ、留学決意につながった経験がある。



【当プロジェクトの目的】

ウプサラ大学と信州大学の教育学部生の交流および良好な関係の構築を主な目的とする。

①現地学生へ当該学部の良さや特徴を周知し、当該学部への留学意欲の向上を図る。

②当該学部生へ留学先としてのウプサラ大学教育学部の魅力やスウェーデンでの生活情報を発信し、留学意欲の向上を図る。

このプロジェクトを派遣第一期生として両大学の継続的な交流につなげるつもりだ。

【①「日本食」を通じた現地学生と信大生の交流】

両大学が協定を結んで日が浅いため、信州大学の認知度が低いと考えられる。

そこで、「日本食」を通じて現地学生と交流を深める。

「教育」をテーマに参加者を募り、日本とスウェーデンの教育の良い点や改善すべき点を議論する。

また、信州大学教育学部の特色ある研究機関としての魅力や、附属小学校・中学校を通じた他にない日本の教育を学ぶ場としての魅力の発信に努める。

場所 : ウプサラ市内の日本食レストラン

日時 : 10月中旬

参加者 : 構成員 2 名、他信州大学および教職大学院生 10 名、顧問 1 人、現地学生 7 名

【②オンラインツールでスウェーデンの魅力発信】

ウプサラ大学について知らない学生や「留学」に対して隔意を持つ者が非常に多い。

そこで、Zoom やインスタグラムを用いてウプサラ大学構内からオンライン配信を行う。

配信ではスウェーデンの教育について学んだことや、ウプサラでの生活を発信する。このとき、留学(主にウプサラ大学教育学部)に関する悩みや疑問を双方向的に解決する時間を設ける。加えて、現地の観光事情やアクティビティについても紹介し、スウェーデンという異文化における生活の魅力を発信する。

【安全面への配慮】

① 事前の参加者のアレルギーを把握する。

② 配信中の交通事故・周囲への迷惑等に配慮する。移動中の撮影では一方が撮影、もう一方は必ず周囲の安全を確認する。

安全な移動のために交通手段として特急電車を利用する。

【その他事項への対応】

①レストランの位置を把握し、下見をする。参加者に正確に位置情報を伝える。交流後の帰宅確認を取る。

②配信予定は事前に通知し、適切な時間と場所で配信する。移動中の撮影では一方が撮影、もう一方は必ず周囲の安全を確認する。

【経費】

1. 交流費(主に食費)4万円
2. 特急電車代 2万円
3. スマホ用スタンド 4千円
4. 撮影用ライト 6千円
5. アクティビティ費用 2万円
6. ウプサラ大学パーカー 1万円

質疑への回答

Q1. 渡航に際し、緊急事態が発生した際の信州大学との連絡体制や連絡先の確認はされているか。
はい、交換留学生出発前ガイダンスでの説明事項に従い、必要な連絡を行うことを確認しました。

Q2. 附属小・中を通じた信大教育学部の魅力の発信とは具体的にどのようなものか。
現場体験を重視した学びについて述べる。具体的には、附属学園でのフィールドワーク(日本の学生と教育実習の場を共にし、具体的で積極的かつ比較文化的な授業づくりの過程・実践を経験することができる。)とその経験に基づいて教育学部構内で学生と行う「省察」である。

Q3. レストランで議論できるのか。
テーブル席での議論は可能だと思います。議論内容は文書またはラジオ形式で公開します。
留学生寮の近くにテイクアウト可能なSushi barがあり、そちらでテイクアウトし、大学または寮で交流をするつもりです。

Q4. 食事代は参加者が負担すべきだ。
全額ではなく補填的に負担したいと考えております。
スウェーデンの物価は世界的にとっても高く、外食費の相場は1人当たり270SEK(約3800円)です。金銭的負担を少しでも減らすことで学生の積極的な参加を促したいです。
参加学生19名×3800円=72,200円、支給希望額は総額の約半分の4万円です。それにより、学生は約1900円の支出負担にすることができます。

Q5. 構成員と教職大学院生の関係はどのようなものか。
北欧教育という同じフィールドで学ぶ信州大学生および院生です。彼らは10日間のスウェーデンにおける小中学校での研修を行う予定です。

Q6. オンラインツールを用いたスウェーデンの魅力発信の具体的な内容について
・東北大国際交流団体を模範とし、交換留学生募集時期である10月ごろに構成員2人が1~2時間の配信をウプサラ大学構内から行います。
・2カ月に1本程度Youtubeにウプサラの街、ウプサラ大学校内の様子をアップロードする予定です。